

みてみて！家庭学習ノート【川本南小学校】

**社会** —水産業のさかんな地域—

めあて  
水産業のさかんな地域はどこかわかりやすくノートにまとめる。

<調べてわかったこと>

- 北海道が一番漁港の水あげ量が多い。
- 東北地方は漁港の水あげ量が少なっている。(岩手県と宮城県)

▶北海道ではにしんたらカレイなどが多くとれる。

▶東北地方はいがさけまぐろなどが多くとれる。

▶**主な国の一人1年当たりの魚や貝の消費量**

国	消費量 (kg)
日本	55
オランダ	55
フランス	35
中国	35
ロシア	25
インド	25

- 日本の近海は暖流と寒流がぶつかりえさになるプランクトンが多く魚の種類も多いためよい漁場になっている。また、日本近海にはゆるやかな斜面が続く水深が200mくらいまでの海底が各地に見られる。

ふり返し  
水産業のさかんな地域は北海道だとわかった。

5年生家庭学習ノート

めあてと振り返りを書き、自分の学びを深めている。調べてわかったことやグラフをかき、丁寧にまとめられている。

9月6日 **社会** 江戸時代 蘭学

**【課題】**  
理科でも出てくる人の体の中は、どういふふうに住えられ、知られていったのだろうか。

**今と昔のちがひ**  
昔は、今とはちがって、人を外から見て、何の病気がかかっているかを判断していました。そのため、医者にもわからず、人の体の中を知らなかったのです。

**ここ大事!!** 西洋の学問を**蘭学**という。

杉田玄白は、240年にオランダ人が持ちこんだタートル・アトミアを初めて見て、ほんやくをしようと考えた。玄白と同じにほんやくをしようとした前野良沢と玄白が中心になり、ほんやくをした。ほんやくは、むしろ、うに大変で苦学した。まる十日かけても一行もほんやくができてきた。このころは、満足な辞典がないために中国の書物にもない医学用語の日本語訳に苦学

し、4年の間にも11回も書き改めるほどだった。

wenkbrauw = まゆ  
この一言がわからず苦学した。  
タートル・アトミア  
(オランダ語の解剖書)

「鼻は顔の中でフルハッハンドした」と書いてありました。そのフルハッハンドの意味がわからなかったのです。

ある本には、木の枝を 1にわのゴミをあるある かりるとフルハッハンドとフルハッハンドになる。

フルハッハンド = うが高くなる  
鼻は顔の中でうが高くなっているからフルハッハンドとは鼻のことだ!!と思いついた

**【まとめ】**  
オランダ人が持ちこんだタートル・アトミアによって、蘭学が知られていた。

6年生家庭学習ノート

わかりやすく色分けをして、大事な所を目立たせている。自分で「ここ大事！」という言葉をつくりまとめている。イラストも上手に使ってまとめている。